

精華町立 精華南中学校



所在地 京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目3番地1
電話 0774-72-5222 郵便番号 619-0232
FAX 0774-72-5366
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seikaminami-jhs/>

精華南中学校 校歌

作詞 永谷 鞆庸

作曲 荒堀 和子

さくらが おかに そびえたつ
わがまなびやは せいなんの
せんこのれきし ふまえつつ すすむせいき そうぞうの
いーきと どりよくの ひとつど う
はえある せいか みなみちゅうがく

精華南中学校校歌

作詞 永谷 鞆庸
作曲 荒堀 和子

一 桜が丘にそびえ立つ
我が学び舎は精南の
千古の歴史ふまえつつ
進む世紀創造の
意気と努力の人集う
栄えある精華南中学校

二 平城京の青垣に
育つ大地を基として
躍び立つ力担いつつ
世界の文化発展の
生気と創志の人集う
輝く精華南中学校

三 相楽山の頂きに
希望を胸に研きあい
未来に夢を抱きつつ
つくる関西・学研の
勇気と責務の人集う
伸びゆく精華南中学校

1. 学校の沿革

- 昭 63. 4. 1 精華町立精華南中学校が山田荘小学校で発足
4. 6 精華町立精華南中学校開校式（山田荘小学校体育館）
5. 21 精華町立精華南中学校育友会設立
9. 1 新校舎竣工に伴う開校式及び町開き、創立記念日とする。
10. 16 京都国体開始式に合唱隊として全校参加
3. 10 精華南中学校校歌発表会
3. 24 学校菜園創設
- 平 元. 4. 1 文部省・精華町より、道徳教育推進校に指定される。
4. 6 新しい制服（男女ともブレザー）を制定する。
3. 10 育友会総会で桜が丘地域が新しく加入される。
3. 24 平成2・3年度道徳教育推進校中間報告
2. 10. 25 文化クラブ発足（プラスバンド部・クラフト部・文芸部）
2. 5 文部省・精華町教育委員会指定道徳教育推進中心発表会開催
4. 8. 30 「コンピュータ室」完成（42台設置）
6. 4. 1 京都府教育委員会・精華町教育委員会指定「国際理解教育推進事業モデル校」として指定をうける。（平成6・7・8年度）
9. 10. 25 創立10周年記念行事を開催
記念式典・記念演奏会・記念植樹「三春の滝桜」・記念誌発行
10. 11. 30 相楽郡中学校教育研究会指定研究発表（平成9・10年度）
12. 2. 20 アフリカ英語圏諸国の女性教員来校（18カ国24名）
10. 29 平成12年度京都留学生交流モデル地域推進事業の指定を受け、留学生との交流会を実施
13. 8. 25 吹奏楽部 関西吹奏楽コンクール出場
14. 8. 26 吹奏楽部 2年連続関西吹奏楽コンクール出場
15. 4. 1 特別支援学級「レインボー学級」開設
8. 25 吹奏楽部 3年連続関西吹奏楽コンクール出場
16. 4. 1 文部科学省「平成16年度全国のかつ総合的な学力調査の実施に係る教育課程研究指定校」に指定される。
8. 23 吹奏楽部 4年連続関西吹奏楽コンクール出場
17. 4. 1 「開かれた学校づくり」推進
8. 22 吹奏楽部 5年連続関西吹奏楽コンクール出場
2. 24 全国教育美術展 学校賞受賞
18. 8. 21 吹奏楽部 6年連続関西吹奏楽コンクール出場
19. 4. 1 「京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究開発校として府より指定を受ける」
11. 3 創立20周年記念行事を開催
20. 11. 19 京都府中学校教育研究会情報教育研究大会
2. 3 京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究発表会
21. 4. 1 平成21年度特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）に指定される。
4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業「小・中連携教育実践研究事業（平成20・21年度）」
23. 4. 1 学力の3要素（習得・活用・意欲）について研究
25. 4～29. 3 ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりについて研究
27. 2. 屋内運動場太陽光発電設備設置
29. 4. 1 相楽地方中学校教育研究会指定研究（平成29・30年度）
10. 27 創立30周年記念行事を開催
30. 11. 28 相楽地方中学校教育研究会指定研究発表会
- 令 2. 4. 1 山田荘小学校・精華南中学校学校運営協議会設立

2. 学校教育方針

1. 経営方針

確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」をそなえた生徒の育成

2. 教育目標

(1) <中期経営目標>

『質の高い教育を追求するとともに、地域から信頼される学校づくり』～学校文化を創る～

- ① 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実現する取組を通して、「生きる力」を育てる。
- ② ユニバーサルデザインの視点に立ち、教育活動全般に取り組むことを基盤にして、精華南中独自の学校文化を創造する。
- ③ 家庭及び地域社会から信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを推進する。

(2) <学校経営の重点（短期経営目標）>

- ① 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実感させる取組を具体化する。
- ② 義務教育9年間を見据え、学力を向上させるための研究を推進し、質の高い学力を育成する。
- ③ 学校が更に信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを推進するため、生徒会活動やボランティア活動などを充実させるとともにコミュニティスクールの取組を通して生きた地域人材の活用や情報の積極的な発信を行う。

3. めざす学校像、生徒像、教師像

(1) めざす学校像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 質の高い教育を提供し、信頼される学校
- ③ 生徒や地域の特性を生かし、生徒の夢を具現化する学校

(2) めざす生徒像

- ① 意欲をもって学び、根気よく努力をする生徒
- ② 自信と誇り、思いやりを忘れず行動する生徒
- ③ 創造性豊かで、感謝と感動を行動で表す生徒

(3) めざす教師像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 学ぶ喜びを実感できる授業を創造し、絶えず研鑽に励む教師
- ③ 組織として、子どもを教育する教師

4. 指導の重点

(1) 学校がさらに信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを進める。

- ① 組織運営・校務分掌
ア 教職員が常に組織の一員であることを自覚し、機能させることにより学校力を高める。
イ 委員会、部会の統合や見直しを図る。
- ② 情報・文書管理
ア 精華町文書管理規程による管理を徹底する。
イ 文書の保管については、特に個人情報保護の観点に留意する。
- ③ 施設・設備管理・安全管理
ア 校舎内外の施設、整備の点検を定期的に行う。
イ 安全指導、安全管理の徹底を図る。
- ④ 保健・衛生
健康な体と学習環境を整えるために、定期的な検診と衛生管理に努める。
- ⑤ 家庭・地域との連携
地域の自然や文化・人材の積極的活用、学校評価等や情報の積極的な提供、保護者・地域の人々の学校運営への参加促進など地域の力を活用する。
- ⑥ 学校評価・教職員評価
ア 自己評価の結果について評価を行うため、学校関係者評価を導入する。

- イ 教職員評価を充実させる。
- (2) 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善により、質の高い学力を育成する。
- ① 研究・研修

質の高い学力を育成するために、研修を計画的に実施し、教職員の資質向上を図る。
 - ② 教育課程の編成と実施

新学習指導要領の全面实施をふまえた教育課程の編成と年間指導時数の確保に努める。
 - ③ 各教科

ア 研究主題に基づいた研究を進めるとともに、「伝え合う力」の育成を目指した授業改善に努める。

イ 基礎・基本の徹底による学力向上・充実を図るとともに、全ての教科で活用の力を育成する。

ウ <育むべき資質・能力>
 実際の社会や生活で生きて働く、知識及び技能、未知の状況にも対応できる、思考力・判断力・表現力。学んだことを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力
 - ④ 道徳教育

道徳的価値の内面的な自覚を促す道徳の授業方法について研修を深める。
 - ⑤ 小中連携

小中学校の特質を踏まえながら、一小一中という利点を生かした連携の充実を図る。(小中連携推進委員会が中心)
- (3) 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実感させる取組を具体化する。
- ① 生徒指導

基本的な生活習慣を体得させるとともに、自主的活動の充実を努め、問題行動の未然防止を図る。
 - ② 特別活動

望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
 - ③ 教育相談

共感的理解等により人格の形成・成長を支援する。
 - ④ 特別支援教育

ア 指導計画の作成と個々の生徒への働きかけを計画的に行う。

イ 特別な支援を必要とする生徒に対して必要な手立てを講じる。
 - ⑤ 健康教育

心身の発達と健康な生活についての意識を高め、健康や安全に対する自己管理能力を育てる。
 - ⑥ 総合的な学習の時間

「生きる力」をはぐくむという目標の具現化のため、学校全体の計画を再構築する。(「生き方」探求学習に再編)
 - ⑦ キャリア共有

「生き方」探求学習を通して、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。
 - ⑧ 人権教育

様々な人権問題の正しい理解と問題解決のために行動できる態度や実践力を培い、「共に生きる」実践をさせる。
 - ⑨ 図書館教育

生徒の豊かな感性と生涯にわたって読書を愛好する心情を育む。
 - ⑩ コミュニティスクール

山田荘小・精華南中学校運営協議会を核に地域と協働することにより、地域を愛し、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。

5. 研究主題

「伝え合う力の育成（振り返り・話し合い）」

3. 生徒数（5月1日現在）

(1) 学年別・学級別生徒数

学 年 組	特別支援学級 レインボー	1 年		2 年		3 年		合 計
		1	2	1	2	1	2	
男 子	1	11	11	13	12	13	13	74
女 子	1	10	11	14	14	14	14	78
小 計	2	21	22	27	26	27	27	152
合 計	2	43		53		54		152
家 庭 数	2	32		51		54		139

(2) 地域別生徒数

地 域	特別支援学級	1 年	2 年	3 年	合 計
山 田	0	3	1	6	10
乾 谷	1	0	3	2	6
栢 榴	0	0	1	1	2
桜が丘一丁目	0	10	16	8	34
桜が丘二丁目	0	7	9	10	26
桜が丘三丁目	0	14	13	10	37
桜が丘四丁目	1	6	10	12	29
エスペローマ	0	3	0	5	8
合 計	2	43	53	54	152

4. 教職員一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	教科	校務分掌	部活顧問
校長	深田 守				
教頭	杉本 美幸				
教諭	小野 昌	教務	数学	教務主任・研究主任	野球
教諭	乾 佐知子	レインボー	音楽	特別支援教育	吹奏楽
教諭	大谷 弘和	1年主任	社会	キャリア教育	サッカー
教諭	竹田 舞	1年1組	理科	教育相談・道徳教育	国際交流
教諭	田口 琴美	1年2組	国語	図書館教育	陸上競技
教諭	脇本 亜矢	2年主任	保健体育	総合的な学習	バスケットボール
教諭	山田 孝司	2年1組	数学	人権教育	陸上競技
教諭	安光 創	2年2組	保健体育	安全教育	野球
教諭	北森 みのり	2年付	英語	生徒会	吹奏楽
教諭	望月 英雄	3年主任	数学	進学主任	陸上競技
教諭	今村 優典	3年1組	国語	生徒指導主任	野球
教諭	板垣 崇子	3年2組	英語	特別支援コーディネーター	バスケットボール
教諭	占部 佑美子	3年付	社会	生徒会	美術
教諭	黒岡 梨恵	(育休)	美術		
講師	伊藤 純	1年付	美術	清掃美化	美術
非常勤講師	大嶋 良孝		技術		
非常勤講師	曾束 ますみ		家庭		
非常勤講師	森下 綾		理科		
養護教諭	北村 忍			健康教育	
事務職員	村木 輝美			学校事務	
町特別支援員	田邊 直子			特別支援教育	
学校図書館司書	赤松 智子			学校図書館運営	
スクールカウンセラー	岩井 秀世				
学校医	下里 豪俊				
学校歯科医	住岡 和一				
学校薬剤師	中村 政美				

5. 学校行事計画

※新型コロナウイルス感染症の影響により行事の延期又は中止をする場合があります。

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	新入生歓迎会	文化学習発表会 人権学習発表会	3年生を送る会
健康安全 体 育	身体測定 視力検査 専門医検診（内科・歯科・ 眼科・耳鼻科） 心臓検診 スポーツテスト 避難訓練 交通安全教室 防犯教室 薬物乱用防止教室 熱中症予防学習	身体測定 視力検査 体育大会 避難訓練	身体測定 視力検査
旅 行 集 団 宿 泊	校外学習（1年） 校外学習（2年） 修学旅行（3年）		
勤 労 生 産 奉 仕	学校菜園作業	地域清掃活動 しごと講話 職場体験学習（2年）	学研都市企業訪問（1年） 奉仕作業（3年）

6. PTA

(1) 活動方針

世の中の変化とともに、子どもたちをとりまく環境も大きく変わっています。新聞やTVのニュースでは、子どもに係わる凶悪で悲惨な事件が連日といっていいほど報道されています。子どもたちが、いつ、どこで、どんな事件・事故・災難に遭遇するかわからない状況にあります。このような時代だからこそ、学校と親がしっかり手を組んで、協力していくことが大切です。

一步一步、大きな社会に踏み出しつつある子どもたちが、将来、自分の足をしっかりと地につけ、歩める土台を作れるように、「家庭」「学校」「地域社会」が互いに協力し合う。そして地域ぐるみ、学校ぐるみで子どもたちを守り育てるためにも、先生方と保護者と子どものふれあいを深め、心身共に健康な子どもたちの成長を目指し、より良い環境を作り上げていきたいと思えます。

(2) 活動目標

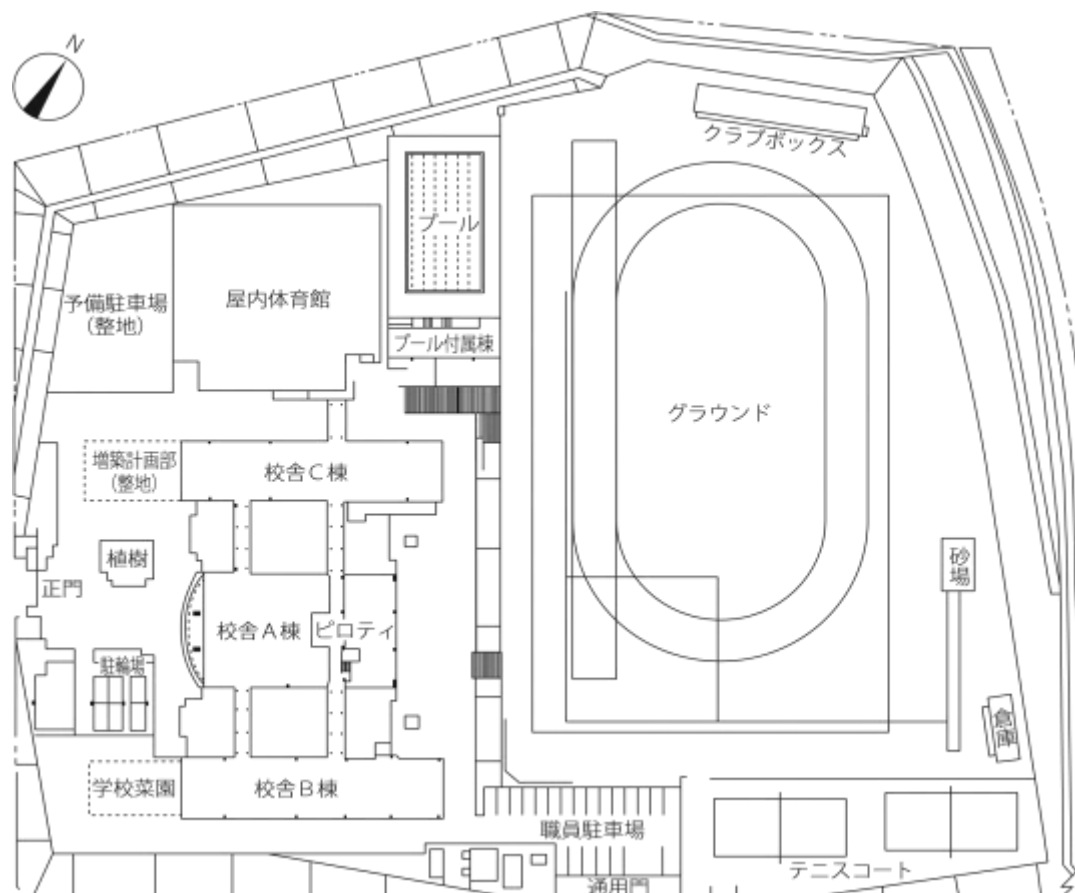
「地域ぐるみ、学校ぐるみで子どもを守り育てるために、先生方と保護者と子どものふれあいを深める」

- ① 保護者と教職員が共通の認識を持ち、相互に理解を深められるようにPTA活動を推進する。
- ② 各種行事の参加を通じて会員相互の親睦と理解を深め、円滑なPTA活動を推進する。
- ③ 関係団体の研修に積極的に参加する。

7. 学校運営協議会委員

	氏 名	職 種 等
1	木原 國夫	令和元年度精華南中学校学校評議委員
2	黒崎 法男	令和元年度精華南中学校学校評議委員
3	渋谷 富美子	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
4	谷 讓二	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
5	杉原 孝司	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
6	飯田 智香子	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
7	田中 智美	山田荘小・精華南中サポーター代表
8	山本 正來	山田荘小・精華南中サポーター副代表
9	野崎 奈緒美	令和元年度山田荘小学校PTA会長
10	岡田 智香	平成28年度 精華中学校PTA本部役員
11	小長谷 佳代子	山田荘小学校 校長
12	中下 和之	山田荘小学校 教頭
13	深田 守	精華南中学校 校長
14	杉本 美幸	精華南中学校 教頭

8. 学校施設



各階平面図

